参考資料２

ヒアリングから得られた要望一覧

（下線部は平成22年度の調査で追加）

品目	調査結果
エアコン	・エアコン本体が大地震発生時に落下して、死亡する事例が過去発生していると聞き、子供の寝室に取り付けているエアコンがとても危険なものに感じています。取りつけ作業は、引越し業者が委託している業者が３０分程度で行いましたが、強度等の安全基準をクリアしているのか、またそのような基準があるかどうか、一般の消費者は知る由もなく、大きな問題だと認識しています。 ・エアコンの室外機からの排出温度をもう少し下げた基準で作ってほしい(外が異常に暑いため)。 ・ダスキンなどの「エアコン清掃」により、その後逆に製品の性能を損なう結果となった。サービスが規格化され、標準化されると安心して依頼ができる。 ・経年劣化による火災、発火をその機器の中で消化するＪＩＳ規格を作ってほしい。 ・交換フィルターのサイズを何種類かの定型サイズにしてほしい。 ・どうしても冷えすぎるので、もっとやわらかい風が出るような温度調節ができるようなればいい ・取説で内部の構造をわかりやすく説明して欲しい ・室外機と室内機の互換性を高め、故障しても工事が簡単になればいい ・部品の互換性を向上して欲しい ・エアコンは常時使うものなので、環境へ配慮した表記にしてほしい。 ・８０代の母がエアコンのリモコンを使用する際、項目が多くて使いにくいといっています ・エアコンを使うとき器具の右下にあっても高くて見えにくいです。ふみ台に上がるのも危険です。壁に貼り付けられる表示があっても良いのではないか。 <u>・フロン類の回収が可能な構造力、排出しない構造にならないか。</u>
除湿機 加湿器	・フィルターの互換性を図って欲しい。 ・除湿・加湿器については、メンテナンスなどの衛生上の問題が多い。 ・最近加湿をつけていると咳が止まらないという苦情が多くあると聞きました。安全・環境や体への考えて JIS が基準が合格の製品があればよいと思います。 ・加湿器のフィルターの交換が不便。型番をチェックし、注文しなければならない。
IH 調理器	・電磁波について、安全性が分かりにくくなっているがレベルぐらいは示すものがあってもいいのではないか。
電気コンロ 一口電気コンロ	・電気コンロで火災が多発している器具があり、ストッパー等の検討が必要かと感じる。 ・ガスコンロと違い直接火がでないので、うっかり消したつもりになっててもついたままで空焚きになってしまうことや、家を出たときにちゃんと消したかどうかが不安で戻ることがあるので、一定時間（ユーザー設定可）ついてるようなら自動的に電源が落ちるような仕組みがあると少し安心できる気がする。 ・熱がかなり高くなるが、視覚上はそれを感じない。放熱部分に手を触れぬよう改善が必要。火傷や可燃物発火の経験あり。
電気掃除機と紙パック	・掃除機のごみを吸い取る性能を吸い取ったごみの量で比べられるように製品表示されてほしい。 ・まだまだ紙パック用の掃除機の利用が多く(特に高齢者)、セットの仕方、共通専用紙袋など(折線で切るなど)わからないでいる。 ・掃除機の排気ガスが出る箇所につき、スタンド型の物も横面につけてほしい。縦面につけると排気を吸い込んでしまう。 掃除機のコードの巻き取りスピードについて。 ・各社共通とはいえ、とても使いずらい。ピッタリ感がない。 掃除機の部品(カーテン用・角用など)の太さが同じだと便利。 我家はカーペットなので購入のポイントは吸引力。カーペット、フローリング、畳など床材別の吸込仕事率の表示をしてほしい。・乳幼児がいても安心安全な製品を作って欲しい ・吸引力を改善して欲しい ・サイクロン型の掃除機はフィルターが破れやすく、耐久性が低い

	・障害がある人でも使いやすく機能性あるものにして欲しい ・排気中の微じんが気になる。 ・掃除機については、集塵処理方式の規格化を。 ・音の静かな物が少ない。 ・ホースの直径を標準化、ノズルも互換性のあるものにしてほしい。　高齢化社会となり家電製品が故障して買い替えても基本操作のボタンの位置や色は標準化をして、高齢者でも古い家電製品と同じ方法で使えるようにする。 ・安全性については、特に古くなって異常が出たときの安全装置がないように思います。 ・コードレス掃除機の吸引力や安全面が心配。
冷蔵庫	・経年劣化による火災、発火をその機器の中で消化するＪＩＳ規格を作ってほしい。・経年劣化の見極め時期を製品ごとに替え時期あるいは点検時期を表示してほしい。高額商品は長期使用に対応できるように指導してほしい。耐用年数 10 年は、メーカー本意であり消費者にとっては長いほうが有利である。耐用年数の長期化を促進し、このメーカー姿勢を消費者が製品選択の１つの目安としたい。・冷蔵庫自体に点字を取り入れる。・冷蔵庫の外側が熱くなっていたりする。・冷蔵庫は常時使うものなので、環境へ配慮した表記にしてほしい。・冷蔵庫は常に電気を使用しているので省エネに関する情報がほしい。・冷蔵庫、背が高すぎて上の方が手が届きにくいし、空けるのに力がいる。 ・冷凍冷蔵庫の野菜室と冷凍室の位置が、メーカーにより異なる。・家の関係で途中で置く場所が変わることもあるので、左開き扉が欲しい。
電子レンジ	・よく食品の調理法の欄に「機器によって調理時間が異なります」と書いてあるが、不便なので標準化できないか。 ・有害電磁波がもれているという本もありますので、それを明らかにして規制してほしい。利用する際のサイズ等。電磁波と健康の両立性。 ・時間設定を間違えると、やけどをしたりしていまうので、もっと安全に使えるようになってほしい。 ・使い方がよく分からないので、統一したマークや使用方法があったらいい（例えば、使用できる皿など） ・取扱説明書をよみやすくしてほしい ・ボタンが小さく、わかりにくい。単機能レンジであれば、温めボタンと解凍ボタンと運転時間の設定だけなので、もっとわかりやすくできると思う。 ・高齢者にとって判り易い表示と操作方法 ・電子レンジの「チン」の音が高く、年配者には聞こえづらいらしい。ランプで知らせるとか、音声案内にするなど選択できるようにすると便利だと思う。 ・いつものように食品を温めようとしたら、レンジで火花が飛びました。火花が飛んで使用禁止ですが、余りにも危険だと思います。（食器はいつもの器です。）以前のレンジも火を噴きました。
洗濯機	・最近、洗濯機による事故（指の切断など）が多く発生している。作動中に手を入れると作動停止になるシステムを考えるべきである。 ・選択ステップが複雑化しすぎている。もっと洗濯工程を標準化してはどうですか。マニュアル選択もやりづらい。 ・洗濯したのに汚れが全然取れていないことがある。どのくらいの汚れが取れる性能の洗濯機なのか統一された規格の性能表示があればいいと思う。 ・洗濯機は長く使っていると水垢やカビなどで汚れてくるが、一般家庭では中まで洗浄するのは難しい。洗濯機自体を洗浄・殺菌できる機能や、自宅でも手入れがしやすい構造にしてほしい。 ・乾燥時の衣服の縮みや洗濯時間、振動、音など。 ・前部トビラのドラム式：洗濯後ふたを開けると、小さいもの（ストッキング、子供靴下）などが、ふたのゴムパッキンの中に入っていることが多い。

洗濯乾燥機	・乾燥機能がついていても性能がいまひとつなので使いにくい。乾燥機の方がはるかに能力が上、それならいっそないほうがよい。しかし、ドラム式の洗濯機には必ず装備されている。 ・ドラム式の洗濯機を使っているが、使いこなせない。洗いだけ、すすぎだけ、又は脱水だけと使い分けができない。一通り終わるのに時間がかかりすぎる。節水はするが電気代がかえってかかるような気がする。 ・ドラム式の洗濯乾燥機は、扉の開く方向（右開き、左開き）を選んで購入するのではなく、洗濯機の扉が自在に開く方向を変えられる仕様になっていると良いと思う。 ・洗濯乾燥機は、使いたいが、作動音や安全性の面では、今ひとつ心配が残る。 ・洗濯乾燥機など操作が複雑すぎてお年寄りにはわからない。
食器洗い機	・時間が掛かって、しかも結果が十分でない。技術的にもっと研究が必要。 ・食器を洗う前に水で流してからでないと汚れがとれない。もう少し改善してほしい。 ・最近買った食器乾燥機が、食器が立てられなく、使いにくい。 ・音がうるさい。
扇風機	・子供が扇風機の穴から手を入れてしまう。もっと穴が小さければといつも思う。 ・古い扇風機の発火事故。電化製品ごとに使用年数が決まっているとよいと思う。 ・すぐ壊れてしまう。製品規格を。
電気ストーブ・ヒーター	・ストーブやヒーターの消し忘れ。自動的に消えてほしい。 ・ストーブ・ヒーターは海外製品も多く安全面、倒れたときの消火、火災など。 ・ストーブ、ヒーターについては、気をつけて欲しい。 ・赤外線で暖かくて良いと言われたが、実際は違っていた。
電気こたつ	・熱が出るところが熱すぎることがあり、改善して欲しい。熱にムラがある。・こたつの温度調整はほとんどの製品が低、中、高で切り替えられるが、”低”状態でも３０分以上使用していると、非常に暑くなり、お年寄りにはちょっと危険だと思う。体温並の低い温度設定があれば安心して認知症の人にも長時間使える。・電気こたつは一定時間が過ぎたら OFF になるほうが安全だと思う。・こたつの中で寝てしまって低温火傷になることがある。・電気こたつ：超長期で使用されている。ライフエンドで本当に不安全にならないか。田舎の年寄りの使い方を見ると心配である。市場で問題が発生する前に対策が必要(今までの電安法の改正はすべて後手です)。 ・電気コタツ（卓上）ヒーターのサイズを同じにして欲しい。
電気あんか	・低温やけどの防止策 ・子供、高齢者、障害者のある方など、直接当たることで火傷を負うことがある。タオルを当てたり、袋にくるんだりしないでもいいようなものであったらと思う。 ・電気あんかでは、温度の調節がうまくできず、熱くなりすぎることがあるので、温度をしっかりと調節できるようにしてほしい。
電気カーペット	・消費電力の省エネ化への更なるの改善、暖房域のもう少し細分化。 ・劣化の状況が見えないので劣化の状況が分かるように工夫して欲しい。 ・肌に直接触れる電気カーペットやあんかは長時間使用すると低温やけどする心配がある。
電気ポット	・瞬間沸騰型の電気ポット（ケトル）で、主流の製品はプラスチック製の簡素な作り。短時間に沸騰し便利だが、火傷や樹脂成分の溶解などが心配。子供やお年寄りでも安心して使える製品が増えるといいなと思う。 ・機能が色々有るがメーカー毎にボタンの位置が違う。 ・半身麻痺があり左腕が使えないため水を足す際、給水のふたを開けるのが、片手ではなかなかできない。ふたの開け閉めが簡単に安全にできるようにしてほしい。 ・コードを統一して欲しい。
炊飯器	・保温時間が長いので、エネルギーを節約できるように改良して欲しい。 ・まず最近の炊飯器全般ですが、機能が多すぎて使いこなしている人はあまり居ないと思う。IH で美味しいご飯は炊きたいが、その為のボタン操作が分かりにくいでは困る。炊飯器を使うのは女性なので、取り説を熟読しなくても使えるような簡単仕様にして欲しい。・保温した時に、ご飯が黄色くなるのをなんとかして欲しい。

	・炊飯器で簡単にできるメニューの本をよく見るが、間違った使い方で事故が起こることもあることはあまり知られていないと思う。本来と違った使い方をする事の危険性をもっと社会に認知させる必要があると思う。（便利さだけがＰＲされがちなので）
電動工具	・女性でも楽に使用でき、安全であるものがほしい。 ・電動工具は、高速回転する工具については手を離したら電源がＯＦＦになり即回転停止するなどの安全機能が欲しい。 ・扱いやすい機構の製品や高出力で万能に使える物があり便利なのですが、扱い方を誤ると大事故になりそうなものも見受けられます。
電気かみそり	・電気シェーバーのそり具合や肌への影響等についての定量的な性能評価が欲しい。 ・シェーバーの刃を替えたい時、購入しに行くと、メーカで製造していないことが多いので、長い間製造しているようにして欲しい。
ヘヤドライヤー	・ドライヤーはその熱量で吹き出し口近くも高温になったり、コンセントが熱くなるので怖い。ブレーカーもよく落ちてしまう。 ・音がもっと静かになればよいと思う。
携帯電話	・同じ携帯電話会社でも充電器のコードのさしこみ口が違うのでそろえてほしい。家族は、だいたい同じ電話会社を使うので無駄がないと思います。 携帯電話の充電器をどれでも使えるようにしてほしい。 各社共通で使用できる充電器を希望。 ・携帯電話の電池とコンセントが同じだと便利だと思うので、統一したらどうか。 携帯電話、デジカメなどのデジタル小物は共通の充電器で使用できるように規格を統一してほしい。 ・携帯電話の過熱による低温火傷についても、掃除機と同じく、接触部の温度について基準化してもよいのではないか。 携帯電話による低温火傷の被害が発生していると聞きます。思いも寄らなかった事故ですが、携帯電話は多くの消費者にとって、便利で身近な物であり、暮らしの中での使用頻度はかなり高い製品の一つです。このような案件に対する安全の規格が、今後は設定されるべきと考えます。 ・携帯電話の操作がまだまだ分かりづらい。
パソコンビデオカメラ他	・最近の電子機器の多くはリチウムイオン電気を使用していますが、充電中に異常に高温になったりする事が多く、不安になります。過充電の防止など分かりやすい本体への表示をもっと普及させる必要があります。 ・パソコンの過熱による低温火傷についても、掃除機と同じく、接触部の温度について基準化してもよいのではないか。・各部品のリサイクル性と品質向上による旧製品への非互換性を改善して欲しい。 ・マニュアルがわかりにくい。・できる限り日本語表記にする。視覚障害者向けの読み上げ機能を標準装備にする。視覚障害者向けの音の出るキーボードを採用する。 ・高齢者にはまだまだ敷居が高く、ネット接続に特化した製品があっても良い。・メーカーによってか必ずしも統一性に欠け、互換性にも不安感が残る。 ・パソコンは内部データがどこまで消去してリサイクルできるのか不安です。 ・仕様(能力）について、理解しやすい内容標記にして欲しい。・パソコンのキーボードの位置と機能
ＡＣアダプター	・パソコンのＡＣアダプター、コードについて、どのメーカーにでも使えるような互換性をもたせるような規格がほしい。 ・充電器やACアダプターはかなり発熱するものがあり、どこまでが安全なのか不安になる事がある。 ・充電器の廃棄処分にはかなり悩まされるが、これがリサイクルできるものであったり、安全に廃棄する方法が明示されるなどの工夫が欲しい。 ・携帯の充電器の差し込み口のサイズや形などを統一してほしい。 ・各々の製品ごとに充電器があり、数が増えるばかりで非常に不便だし、誤使用によるトラブルの

	可能性。
テレビ	・テレビのリモコン、アナログ、ケーブル、ＢＳ、ＤＶＤなどどれにでも対応でき単純なものがほしい。 ・薄型の転倒防止固定ベルトだけでは、設置場所が多様化している現状では不十分で不安がある。多様化しているケースに対応した固定部品を別売すべきである。 ・デジタル切り替えで高齢者が新しいテレビを購入する時など、ぶ厚い説明書ではわからないと思う。わかりやすい説明書と、もっといえばわかりやすい機能にすべき。
ＤＶＤプレーヤ	・DVD との互換性について大変不便に感じる。録画した機器と別のもので再生ができないことが、しばしばあるので、改善してほしい。ブルーレイに移行するとはいえ、まだ価格も高いし、また同じ問題を抱えているのではと思うと不安も感じる ・説明書はもっと簡単に分かりやすくしてほしい。取説がわかりにくい。 ・全てのメーカーに使用方法を同じにして欲しい。年寄りにも易しく。 ・メーカー統一して欲しい。説明書を判り易く簡単にして欲しい。 ・アナログのＤＶＤプレーヤでは、デジタル放送を録画した DVD を見られないのを知りませんでした。もっと PR すべき。
オーディオプレーヤ	・ＤＶＤやオーディオプレーヤのリモコンはとてもわかりにくい。色分けなど各社同じリモコンだと理解しやすい。 ・オーディオプレーヤはメーカーによって接続ケーブルやイヤホンが違うので、互換性があればよい。パソコンからの入力方法もメーカーによって違うので不便。 ・安価な小型ＣＤプレーヤでは、ＣＤを入れても音楽が鳴らないことがある。学校関係で購入する場合入札になるので、性能の規格化を。
ラジオ	・障害のある人でも操作しやすい機能。例）手が不自由。病院での楽しみはラジオなどと思います。
プラグとそのコード	・プラグの劣化による短絡が原因で火災がある。交換時期など予兆を知る方法がほしい。 ・コードの両端がはずせ、一本でいろんなものに対応できるようにしてほしい。 ・配線器具はずっと使用していても点検する機会が少なく安全性を十分確保する必要がある。 ・気になる製品は分解してみるが、その中にはかなり品質に問題のある粗悪品と言える製品が、店頭で販売されている現状。製品の善し悪しの（最低限の）判断基準が消費者に伝わっていない。
ボタン･リモコン電池	・事故が多いので、軽くて、小さいだけに着目するだけでなく、安全に配慮したコーティングなどが施せないのか。 ・乾電池、ボタン電池の廃棄・リサイクル方法が分かりにくいので、分かりやすくし、リサイクル、回収をもっと徹底すべきだと思う。 ・乾電池については、単１～４はよく使うので家庭でストックしている。しかしボタン型の電池に時々お目にかかる事があるが、意外と種類も多いように思う。もう少し種類について、標準化できないものであろうか。
リモコン	・テレビのリモコン、エアコンのリモコンなど機能が複雑すぎる。 ・字が小さく見えづらい。
電球	・ワット数の表示はあるが、必ずしも明るさとは一致していないので、明度の基準を表示してほしい。 ・電球・蛍光灯は、口金などの種類が多すぎるので、最少限に統一してほしい。 ・蛍光管にＬＥＤ対応のものがほしい。
照明器具	・蛍光灯を交換するのに電気屋さんをいちいち頼まなければならないので負担が大きい。 ・取り付け方法が色々とあり電球交換が年寄りには大変不便で、統一した取り付けがあると便利。 ・天井部分照明器具の交換が高齢者にはやり辛い。外枠を外して蛍光灯を取り付けるが、外枠がなかなか上手くはまらない。 ・蛍光灯の色調が、微妙に異なることあり。

プリンターインクカートリッジ	・どのメーカーのプリンターでも使える形状、サイズであれば価格も下がっていくのではないでしょうか。純正品は高すぎる。・プリンターメーカーによってインクのもちが大きく違う。最低これくらいはもつという規格を作ってほしい。 ・純正品（自社製品）でないと不具合になる。
シュレッダー	・シュレッダーでの子供の指の切断などの事故があったので不安だ。説明書でわかりやすく事故が起こらないようになればと思った。 ・シュレッダーについては、触ると危険な箇所には、触れるな等の文字やマークを数多く表示してほしい。 ・小型化をしてほしい。
電気製品一般(作動音)	・隣接した工場の連続して長時間続く機械の作動音や、電気製品のモーター音、低い周波で続く騒音とは言えないほどの微量な音に対し、頭痛などの健康被害を訴える人が、極一部ですが最近は発生しています。これらに対し、一定のしかるべき規準があると、被害を未然に防げ、現状の改善に向け、対応策が進展すると思います。
電気製品の省エネ	・省エネルギーの電化製品を普及させるための排出ガスやエネルギーに関する JIS 規格を作ってほしい。
ＡＴＭ	・同じ表示、同じ操作で分かりやすく、車椅子でも使えるものがほしい。
IC 乗車カード	・JR、私鉄、IC カードの統一化
水飲み機	・障害者の人には一般の水飲み機の使用には難があると思われる。
電気製品の漏電	・最近漏電で火災が発生しました。　普通、家庭では分かりませんので心配。定期的に検査をしていただける方法とかはないか。
乾電池	・体感的に消耗が早いような気がすることがある。特に安売り店で購入したもののような気がする。自分では判断できない。
扇風機	・すぐ壊れてしまう。製品規格を。
３Ｄテレビ	・新しい技術による製品には、安全面を特に考えて、標準化を議論して欲しい。
電気製品のアフターサービス	・業者の説明不足に困った。　近くから来られても出張料金 5～6 千円を取られる。　規定はないのか？
火災報知器	・年配の部屋に、火災報知機を付けたが、「火事です。火事です」より、ブザーが鳴る方が目覚め易いのに、メーカによっては、ないものもある。
メモリーカード	・デジカメを使うにも色々なカード（SD、MINI SD、CF）があり、価格も安い高いがあるので、統一して欲しい。
扉･戸のドアノブ サッシ	・扉・戸のドアノブの安全性。背の高さにより引っかけてしまう人がいる点。 ・ドア・サッシの構造によって、開閉時に指はさみ、大怪我をするものがあるので、安全機能について標準化してもよいのではないか。 ・乳幼児が開いたドアと壁の隙間に手をいれて怪我をするケースが多く、予防グッズも出ていますが、ドア自体にはさまないような工夫ができないものでしょうか？ ・体が不自由な人でも楽に開閉できるドア ・ドアダンパーの調整を知らない人が多く、どすんと大きい音を出す。調整できることをアピールして欲しい。 ・ドアについては、自動、回転のみならず防犯上の問題も課題が増えている。

脚立･はしご	・日用品について危険なものは改善が必要である。どこの家庭でもある脚立は脚の開閉の際、指を挟み易く危険である。 ・脚立の使い間違えでよく死亡する人がいる。はしご等高いところで作業するためにあるものの安全性は特に重要だ。 ・安全性や安定感がどの程度なのかよくわからない。また不都合な点があった場合のﾒｰｶｰの連絡先が分からないことが多いのでは。 ・安心・安全を第一に、部材や強度に関する安全基準を確立すべき
アルミニウム器物	・調理器具（なべ、フライパン）の中には安定が悪く空のままだとバランスを崩して落ちそうなものがある。安心して使える基準がほしい。 ・毎日使う食器や調理器具は安全性が一番だと思う。 ・なべとかフライパンの持ち手部分の止めネジがゆるみやすく一度ゆるむと、ネジ回しで止め直しても、長期使用は、不可能である。
自転車	・折りたたみ自転車を購入したが、輸入品が多く、きちんとした規格があるのか。壊れやすいのではないか心配で買えない。 ・子供を 2 人乗せることのできる自転車が開発中だが、その安心、安全性が心配。
チャイルドシート シートベルト	・子供用の車のチャイルドシートが車種によってとり付けられないのは不便。 ・チャイルドシートの形と車のシートの角度が合わないものがある。規格統一してほしい。 ・子供の安全のためにシートベルトを必ずつけるが、とてもものものしいと思う。もっとシンプルにコンパクトにならないか。
自動車	・輸入車と国産車の方向指示器の場所が反対なので、間違って操作し、あわててしまい危険。日本も国際標準にあわせる必要はないのだろうか。
タイヤバルブ	・自転車のタイヤの空気入れの口の型や種類がいろいろあって不便。
衣類･繊維の難燃性	・高齢者世帯による、料理の際の着衣着火事故が発生しています。また、両親が共働きの家庭では、弱年齢層である小さなこどもが、未熟な知識と経験でガスコンロなどの火を扱い、料理をする機会が増えています。すでにこのような規格があるのかもしれませんが、燃えにくい衣類のマークや表示、規格があれば、消費者にとって便利で親切な仕組みと考えます。
カーペット	・フローリングに敷いたじゅうたん、カーペットが滑りやすくて転倒しやすい場合がある。敷物には、安全上、滑りにくさの基準があってもよいのではないか。
ふとん	・最近、掛布団（150cm×200cm）のカバーを購入しようとしたところ、150cm×210cm のものしか売り場になく、ネット通販でもみつからなかった。いつの間に標準サイズが変更になったのか不思議だ。仕方なく、210cm のものを購入し、縫い縮めた。布団自体も 200cm のものはなくなっているのだろうか？我家には 200cm サイズがちょうど良いのだが…。 ・布団は年数がたってくると綿よれや布カビが出来るので廃棄するにもなかなか手間がかかるし、それもリサイクル分別や手軽に再度使えるように出来たらもっと長く使用出来るのではないかと思う。 ・羽毛布団の中身の分かりやすい比較の出来る表示の仕方。 ・専門店で作った物が、市販されているカバーとサイズが合わない。
靴	・靴の表示にＥ・ＥＥ・ＥＥＥ・・・があるが、甲高で幅狭の足と、甲低で幅広の足では、合う靴が違ってくる。靴選びに役立つ規格がほしい。 ・JIS では靴のサイズについて、足の長さを表す cm と足幅・足囲を表す E などがあるが、足の幅と足囲は別々に表示して欲しい。足囲は人によって随分違う。 ・靴の底が滑り易い材質が使われているものがある。 ・靴の裏面、着地時のすべり度合い、雨の日など底がすべってあぶないものがある。 ・通販で買って、同じサイズでも小さかったり、大きかったりするので長さは統一して欲しい。

ビニール手袋	・ビニール手袋は食品を扱うときによく使います。安全かどうか提示してほしい。・ビニール手袋は JIS マークのものを見かけませんが、あると良いと思います。すぐに破損するものがあると思えば、長くもつものもあるからです。・ビニール手袋のサイズをもっと増やして欲しい。だいたいサイズが決まっているので大きすぎてブカブカで使いにくい。・サイズを統一してほしい。
メガネ	・メガネの鼻に当たるところがアレルギーで湿疹ができたりする。かぶれないものを作れませんか。 ・かけていると疲れる。ずり落ちてくる。なんとかしてほしい。 ・ねじがすぐに緩む。 ・ねじがとれやすく、高齢者にはねじが小さすぎてとりつけにくい。
傘	・傘は軽量化や安価なものが増え、逆に安全性に疑問のあるものもある点。 ・最近かさが安価で、使い捨て感覚になっているので、３Ｒへの配慮が欲しいです。 ・特にかさはすぐ骨が折れてしまう。強いものを作って欲しい。
使い捨てかいろ	・使い捨てカイロが利用しやすいのかすごく出廻っていますが、捨てるゴミのことも使用中の温度にも不安があります。 ・火傷と火災防止策の強化。 ・これだけリサイクルやリユースが強調されている時代なのに、毎回必ず使い捨て、という製品だから、使用するのに「心理的抵抗」を感じてしまう。
台車	・台車は、キャスターの強度不足と思われるものあり。（支えの部分が曲がって動きにくくなる。） ・台車は坂、建物内でもスロープで簡単に動き始めるため、止おき用ブレーキが必要。
カーテン	・防火基準 ・カーテンのサイズが多すぎるので標準化して欲しい ・カーテンサイズの統一
プラスチック食器	・子供用のプラスチック食器について、子供が口に入れるので素材の安全性がとても気になります。素材だけでなく、塗料や、熱を加えたりもするので、その際薬品等がとけ出さないか、きちんとした基準が欲しいです。 ・レンジ用のカラフルな容器の材料が不明。レンジ可、非火気とかが調理器具の中で分かりにくい。
洋服・婦人服	・高齢者の衣料のサイズについて、ただ、ゆったりしていれば良いわけではない。規格をつくってほしい。 ・インターネットやカタログなどで購入する機会が増えたので、色の表示を明確にしてほしい。写真を実物とのギャップをうめるために（買ってみたが、想像した色と違う等の理由で返品することを回避する意味で）色の名称がもう少し細かく規格化されていると良いと思う。衣料のサイズが規格されてもメーカーやデザインにより違いすぎる。ジーンズや靴・ブラウスなど海外のものが増えたが、寸表示を統一してほしい。 ・高齢者や障害者向けのものを探すのが困難です。ユニバーサルデザインのものがもっと増えて欲しいし、サイズ表示等も国際標準化がされると良いと思います。 ・衣服の生地によるリサイクルの可否の表示があると便利だと思う。木綿以外の生地は良くわからない。 ・リサイクルとして PET ボトルで作ったフリースの服が安く出回っているが、リサイクルも大事だが安全面も重視してもらいたい。コンロなどの火が簡単に燃え移る。これが子供服などに利用されているが、外で大人の歩きタバコなどで火がついたりすることもありえる。フリースは耐火、防炎対策を規格化するべきと思う。安さだけではなく暖かさ、発色の良さなど、のメリットがあるのだから、多少高くても開発するべきと思う。
衣料・繊維、婦人服	・洗濯表示は、何回か洗濯をすると薄くなって見えなくなり、確認したいときに役に立たないので、表示方法を改善してほしい。 ・洗濯マークは各事業者の認定がまちまちで、ドライ表示など本当に手洗いができないものか疑問である。衣料品に付いている取り扱い表示（選択表示）について、水洗いできるものもドライ表示になっている等、クリーニングトラブルをおそれ、慎重な表示になりすぎていると思う。見直し・検討が必要と思う。

	・手洗いできそうな服が、ドライクリーニングに過大表示してある。表示の意味がない。 ・子供用品の安全性
ストッキング	・ストッキングの引き締め効果ばかりが最近目立ち、冷防に対処すべく厚手のタイツ(デニール)を探そうとしても特に夏場はみあたらず、透明感・素足感・引締めばかりが目立つ。
綿毛布	・綿毛布いつまでも遊び毛が出で他の衣類について困る。
給湯器	・給湯器(室外)の保守に関する利用者の注意事項が分かりにくく、不安です。異常熱焼や立ち消えなどが発生して給湯が出来なくなり、メーカーに問い合わせても連絡が付かず、東京ガスの担当者が緊急対応してくれましたが、その折、利用者は決して保守は行ってはいけない言われましたが、再発するのではないかとさらなる不安を募らせました。
パッケージ	・最近、食品やＣＤ等に、パッケージの上からフィルムで包装されていますが、高齢者には、とてもはがしにくいです。包装された商品への開けやすさなどの基準を作ってほしい。
ボトル類	・高齢者・障害者配慮設計指針の中で、消費生活製品の操作性について JIS 化されているが、電気操作スイッチに限定されている。特に高齢者は指先力が衰え、又は思うように動かないため、ビンや缶を開封するのが苦労しているのを目にする。高齢者に配慮した開封方法を決めてほしい。・ペットボトル胴体部についているラベルをはがして、リサイクルに出すが、はがす位置が分かりづらい。はがす位置や、目印などを統一して欲しい。缶きり不用の缶詰のふたの開け方。手先の反応が鈍くなってきているので指きりだけでは開け難い。力がいる。開けにくい。開け方がわからない。不要なゴミが出る。・ボトル類のキャップ部分をシーリングしてあるラップをはがす位置が分かりにくく、はがしにくいので、分かりやすいように印をつけたり、つまみをつけるなどはがしやすく統一して欲しい。
シャンプー	・ボトルシャンプーのデコボコの場所が決まっていない。下のほうについているのが家にあるが、意味がないと思う。押すところにつけてほしい。
電車のつり輪	・電車に乗っていつも思うのは、つり輪の長さがとても短いと思います。もっと長くなるとらくらく使いやすなると思います。
IC 乗車カード	・JR、私鉄、IC カードの統一化
容器	・容器を廃棄リサイクルしたときに生じる二酸化炭素量を表示する規格をつくってほしい。
表示	・「トイレ」の表示は、日本語ではっきり「トイレ」と明記しておらず、外国語で表している場合もあり判読できない人もいる。また、男性・女性の区別も、帽子や衣服の区別で表す場合などもあり、分かり難い。 ・工業製品ではありませんが、電車内で犯罪や迷惑行為を受ける被害が発生しています。電車内などの乗り物に、全国統一の「SOS マーク」といったわかりやすい表示があると、犯罪の未然防止と減少につながると考えます。
マッサージ 椅子等	・ダイエットに関する健康器具が氾らんしているが、効能ばかり先行して安全面の配慮が必要である。安全面に関する JIS の規格をつくってほしい。 ・マッサージチェアは小型化し省エネ化し、又リサイクル可能な形にしてほしい。 ・効果についての基準が曖昧。 ・強弱の標準化
介護ベット	・今後、独居や認知症高齢者が多くなるので、ベットの手やすり、間隔や強度などが心配。
車椅子	・自走車椅子の段差乗り越えや斜行での転倒が心配。 ・操作部の安全性。
エスカレーター	・エスカレーターに乗るとき、最初に足を乗せる部分が、もっと平面が広いと怖いと思わないのですが。 ・安全性に対するわかりやすい JIS 表示等

エレベーター	・エレベーターの開閉のボタンがメーカーごとにいろいろなマークなので、間違えやすくそれにより人が挟まったりする。できれば、ボタンの位置も決めてほしい。 ・エレベーターの開閉の表示を大きく分かりやすく統一してほしい。 ・エレベーターの開ける閉じるのボタンの場所や表示の仕方(開閉の一文字だったり、記号だったり)が様々で一瞬で判断しかねる。 ・エレベーターの記号化しているマークは似ているので、とっさのときに見分けづらく、間違えることが多いので、一目で判別できるような工夫をしてほしい。(例えば、開けるは赤、閉じるは青など色をつけて区別するなどしてほしい) ・エレベーターなどは命に関わるものなので、安全のために規格が設けられるとよい。 ・事故も色々あったので、メンテナンスも含めた規格が必要なのかと思う。 ・もっと体の不自由な方などのために安全や便利さを考えてほしい。 ・エレベーターはドアが閉まるタイミングにばらつきが大きすぎると思う。まだ人が乗り込もうとしているのに、突然扉がしまってきたり、逆になかなか開閉せず故障と思ったりもする。
トイレ一般	・水洗便座に取付けるウォッシャブル電気便座をネットオークションで購入したが、他社製品で合わなかった*と相談に来られた。処理に困ったので設備会社に事情を話して、引き受けてもらった。普通は一体として購入するが、ウォッシュ部分はどんなタイプにも合うのがあるだろうか。高級、特殊品は別として。 ・各施設のトイレ水洗いがいろいろで戸惑うときがある。(高齢者などは特にそうではないかと心配する)また、各施設の手洗いの水の出し方、ひねるものから、ワンタッチ、自動といろいろあって戸惑う。
公共トイレ	・水の流し方、ボタンの位置、大きさなど様々で、困ることがある。障害者や高齢者はもっと困るのではないだろうか。 ・最近の水洗トイレは、センサー付きのものや自動洗浄方式採用など、高機能化しています。トイレの利用の仕方や水の流し方が、多様化しています。特に、外出先のホテルや公共施設、駅、デパート、店舗などでは、それぞれが独自のトイレを設置していますので、時にはいったいどこに水洗レバーが付いているのか、流し方はどうすればよいのか、はたと戸惑うことがあります。利用者にとって、簡単で使いやすい仕組みや、もっと判りやすい表示とその基準などがあればと思います。 ・トイレの水栓設備の規格化。メーカー、機種によって様々で分かりにくい時がある。
給水栓	・給水栓で、上下の開閉タイプで上下の動きで開閉が異なる場合があり、困惑することがある。回すタイプは時計回りが開、反時計回りが閉とわかりやすいので、統一基準を設けたらどうか。・鉛などの有害物質の付着や、水あかなのかカビなのかわからないものが付着している蛇口に不安。・蛇口は形状がまちまちなので、シャワーヘッドやホース等連結時に悩みます。表示方法もわかりにくいと思います。・ｺﾞﾑﾊﾟｯﾄﾞなど消耗品の耐久性・互換性、交換など、メーカーが違えば交換部品も異なり、メーカー不明の場合など極めて不便だ。
シャープペンシルボールペン	・シャープペンシルについている消しゴムが取り替えられると便利(サイズ・強度など) ・ボールペンの替え芯のサイズを統一して欲しい。どれを購入すればいいのか分かりにくい。長さがいろいろあるが表示がはっきりされていない。統一が必要。キャラクター付きのボールペンは、まだまだ愛用していけそうでも、買え芯が合わない。 ・ボールペンのレフィルがメーカーごとに違い使いにくい。ゲル・ボールペンはインクの種類別に同じ形式にしてほしい。
鉛筆	・一瞬では、よく見える色えんぴつセットにＪＩＳマークがありますが、芯はすぐに折れ、とても使いにくい長さ(短すぎる)で使えませんでした。 ・鉛筆の JIS マークを製品の品質安定によりやめてしまったと聞きました。しかし、芯がぬけるようなえんぴつがまだ売られています。また、付けてください。 ・文房具は環境配慮とＪＩＳを上手にコラボさせて欲しい。
畳	・地域にとって畳のサイズが 3 種類あるので、引っ越す度に家具等があわなくなるので、統一したほうが便利。
ベッド	・2 段用の子供のベット（木製）の木の部分をもっと丈夫にする必要があります。

いす	・とてもリラックスできるようないすで休んでいたところ、立ち上がろうとした時の体重移動により、傾きいすがひっくり返りそうになった。 ・サイズが統一されていても、調整可能なものであればいい
塗料	・鉄扉などが紫外線の影響で塗装がはげて、衣服を汚すことがあるので、はげにくい塗料をＪＩＳ規格化してほしい。
巻尺	・巻尺・ものさしの数値の安全性（正確さ）。 ・スチール製の巻尺ですが、どんなものにも(100 円ショップの物)JIS マークがついていますが、目盛りがいいかげんだったり、すぐに壊れたりします。
時計	・電池の交換がしやすいように。家庭にある工具で電池交換ができると非常によい。また、使われている電池の種類もさまざまなような気がする。
体脂肪計	・体脂肪計の数値の信頼性。
スイミングゴグル	・泳いでいると水が入るものがある。JIS 規格では水圧をかけて試験をするものではないので、基準としては不足している。
登山靴	・登山靴の靴底ゴム部分がはがれる事件が多いので、この接着面をより強固に監督してほしい。
抗菌製品	・「抗菌」とシールが貼られていたり、表示がある製品が、暮らしの中に増えています。しかし、抗菌機能の内容とそのレベルが、残念ながらよくわかりません。そのため、誤った使い方でせっかくの機能が正しく発揮されていない商品もあるように思います。
ガスコンロ	・ガスコンロから IH クッキングヒーターへの互換 ・うっかりつけっぱなしにしても鍋など一定温度より高くなりすぎたり、焦げたとき自動的に火が消えるなどセーフティに配慮して使いやすいものがほしい。 ・ガス漏れ事故を防止できるようにならないかという点でもっと業界標準を進め、消費者に安心をアピールしてほしい。 ・よくニュースで事故がおきているのを目にしているので、もっと分かりやすい使い方の説明書、または商品自体へ分かりやすい注意事項を見える位置に表示するとかしたらいいのではないでしょうか？ ・ガスこんろの火力調整のレバーの方向 →大、大← の 2 つのタイプがある。統一すべき。 ・さびにくい、加工
ガス･石油ストーブ	・ストーブ等ガス火についてはもっと安全性を高めてほしい。 ・ストーブは取り扱いが、誰でも危険が簡単に見分けられるようにした説明書の作成。及び本体への表示。 ・ストーブ・ヒーターなどの器具がどの程度暖かくなるのかがわからない。何畳用とかは書いてあるがどの位の時間で何度になるのかわからない。また環境面でも何度までしか暖かくならないような設定ができるといいのでは？ ・石油ストーブは暖かくなるけど、やはり危ないので、もっと一酸化炭素中毒や火事に対する対策を強化してほしい。 ・火災が心配。地震やあるていどの振動で止まる設定にはなっているが、灯油などこぼれたらどうしようと、時々怖くなる。家では灯油を使っているが、給油のときタンクをストーブから抜くと、自動的にストーブが止まるようになると良い。 ・操作盤に点字があったら良いのではないかと思う。
消しゴム	・消しゴムの消し易さ。見た目はかわいいが、消すときに字がきれいに消せず、周りに汚れが広がり余計に汚くなるので、デザイン性だけでなく、機能性も持たせて欲しい。（お金を出して買っているのに、消せないと意味が無い。）
製品の取扱説明書	・取扱説明書・・・解りきったことは不要。要点を簡潔かつ解りやすく。・説明書の文字が小さく、分かりにくい。年寄りには少し難しい。・取扱説明書の簡素化、記号の統一化・プラスチック材質標示マークー製品が横文字が多いことで、取扱いがわかりにくいこと。

荷物かけフック	・公共のトイレ内にある荷物フックの位置とフックの種類によってはカギ型状になってなく荷物が多いとすべり落ちてくる。 ・トイレに入って、物をかけるフックの高さがあまりにも高くついているが、やっとの思いでかけるが、どうにかならないものか。
玩具	・子供用の玩具等、子供が口に入れるので素材の安全性がとても気になります。素材だけでなく、塗料や、熱を加えたりもするので、その際薬品等がとけ出さないか、きちんとした基準が欲しいです。 ・子供が使う玩具が安全なものかどうか、不安がないようにして欲しい。 ・玩具は、子供用品は素材も大きさ、形状も安全なものが必要。 ・子供用玩具が意外に欠けやすく、また電池物が多いのが心配です。 ・検査方法の統一（標準化）。ISO では、2011 年に検査結果補正値を無くすと、デンマークの規格協会玩具担当者に聞いてきた。しかし、日本の検査は食品衛生法で規定されていて、補正値は ISO から来ている。ISO に併せて欲しい。 ・現在は、自主基準なので、ここから外れる玩具が多い。乳幼児の健康被害について、リスクをできるだけ減らすために、早急に。特に化学物質に関する部分は、まだ EU に遅れをとっていると感じた。消費者の声が反映される場作りを（製造段階でも）。
ライター	・ライターは安価な外国製品の安全性など安全性が担保されているのか不安。 ・ライター：使用後の捨て方が分からない。 ・子供が使用出来ない構造にしてほしい。 ・100 円ライターは安い分すぐ壊れる。もう少し部品各々の強度をしっかりと持たせて欲しい。
郵便受け	・郵便受けについては、角が鋭利なものが多く、手を切る可能性がある。 ・メール便等の普及で大型の配達物が増加しているが郵便受けの対応が悪い。サイズ等。デザインより使い易く考えて欲しい。 ・建売の郵便受けだが、郵便物を入れるところから手が入り、郵便物を取ることができてしまう。いたずらなどで、取られないか少し不安。 ・大きさ、形状など規格化できる部分を規格化し、統一化を図ってほしい。
物干金物	・物干しはいつも重い洗濯物をかけるたびに棒を支える部分が折れないか心配しています。2 階なので下に落ちて、人にあたったりしないか心配しています。
ゆたんぽ	・湯たんぽで低温火傷しないか不安。 ・湯たんぽは、個々の商品にやたらと注意書きが多く、安全の最低ラインがクリアされているか不安になる。 ・湯たんぽのお湯の注ぎ口を、お湯がこぼれて火傷しないように、もう少し大きくして、注ぎ口の大きさを統一して、栓だけ別売してくれると、お湯も入れ易くなり、栓も、いつでもきっちりしめられるので安心。
計量カップ	・洗剤の計量カップの目盛りが内側に書いてあるが、目が悪いので外側にもあればよいと思います。
注油ポンプ	・使用ミスで、18L 全て流出した。危険であり、一定限度で止まる安全付きにできないか。
ねんねこ	・ねんねこの付ける所が昔は紐が 2 本だったが、今はピンが 2 箇所になっていて、使用時に付けにくい。
農業機械	・農業に使う機械の部品がメーカーごとに違うので、規格を決めて欲しい。
子供用自転車	・子供用自転車の基準は安全なのか。使う期間が短いが、子供はケガをすることが多い。

荷物用カート	・子供が押すと危険なので、小さい子供に押させないで下さいなどのスッテカー等を貼ると良いと思います。 ・時々ストッパーがないのがあるので、必ずストッパーをつけてほしい。 ・金属の細い網目のカートは指をはさむと危ない。 ・車輪が変な方向を向く時がある。 ・カートの回転、音の発生に基準があれば良い。
乳幼児用品	・乳幼児用品については、乳幼児が大人では考えられない行動をとることから、安全・安心の観点から想定される事項を整理する必要がある。 ・乳幼児用品等子供の使うものは特に品質向上を常に考えてほしい。 ・安全の規格などがバラバラな気がするので統一して欲しい。 ・月齢、年齢表示とともに、ターゲットを明確にしてほしい。
子供服	・子供服のフードの紐の事故について
道路・公共施設	・歩道に段差があり、躓きやすいし、ベビーカーや車椅子の場合は使いにくい ・高齢者や障害者、子供がつまずかないように、ちょっとした段差もなくしてフラットにして欲しい ・自転車は歩道通行禁止になり車道を走ることになったが、スピード差がありすぎて危ない ・歩道が狭いところ、歩道が斜めになっているところがあり、ベビーカーや車椅子の場合にとても使いにくいし、車道に出なけらばいけない場合もあるので危険 ・高齢者・障害者に配慮した道路や公共施設の設置がまだ少ないと思います ・車椅子の人たちが、気軽に外出できるような町づくりにしてほしい。又、これからの高齢者が多くなることを前提とした町づくりにしてほしい
縁石	・高さ、スロープ、出入り口がまちまち。場所によってそれぞれ条件がちがうので決めにくいことは理解できるが、もっと標準化すべきと思う。 ・色をもっと目立つ色に統一するなど、自動車の運転者・歩道の弱視者などに注意を促すような縁石にすれば巻き込みや自動車のコスリなどの大小の事故がなくなるのでは ・歩道と道路の境界の段差をなくしてほしい。バリアフリーという面でも考えるべきだと思います。 ・縁石などはかなりの段差があり高齢者や身障者はとても困ると思う。
スロープ	・スロープの角度がきつい物がある。あとからバリアフリーにすると無理が生ずるのだと思うが、形だけでなく現実的に使えるものにしなければ意味がない。 ・障害者の方のお手伝いをすることがあるが、スロープがあっても。距離が長すぎたり傾斜が強すぎたりして、結局使えないことが多い。また裏口の使いにくいところにしかスロープがないケースもある。きちんと距離や傾斜についてどんな方でも使いやすいように。配慮すべきだと思う ・以前病気で一時的だったが、初めて車椅子を利用した時に利用できる施設や通路、道路が少なく一人では先に進めなかった。スロープや手すりはもっともっと必要だと感じた。
階段	・高齢化社会に向けた配慮すべき。例えば、階段には手すりがほしい。高さ（20cm 以下に）や幅（25cm 以上に）。 ・高齢者や障害のある方の視点が不足しているように感じているため。 ・階段しかない場所では車椅子を使用している人は一人では行動ができなくなってしまう。
公園	・遊具の事故があると全て取り除かれ、安全確認をしてくれるのはいいが、2 年以上戻ってこないので、公園としての機能を果たしていない ・遊具の基礎でコンクリートを使用しているところがあるが、そういう場合はマットを敷くなどして、落下したり転んでも怪我が小さくすむようにして欲しい ・子供だけではなく、高齢者や障害者でも快適に利用できるようにして欲しい ・高齢者の憩いの場が少ない。少人数の集うところが必要。 ・公園内にもっと安全な遊具をたくさん置いてあげたい。（撤去するのではなく）

乳幼児用設備	・子供の事故が起きないような安全な安心できるものにして欲しい ・時折事故の話を聞く。使用禁止にするのでなく、きちんとした基準で安全に使える設備を望む。 ・公園など乳幼児用設備は安全第一を考えたＪＩＳ規格を満たしてほしい。その後、メンテナンスの部分も守れるように取り付けて終わりでない考え方をしてほしい。
点字ブロック，点字ブロックとタイル	・道路、駅などの点字ブロックについていろいろ種類があるように感じています。もう少し絞り込んだほうがいいと思う。 ・歩道をタイル（点字ブロックと同じ大きさ）化しているが、駐車場の出入り口のタイルは車の重さで浮いた状態になっている。そのため、点字ブロックが読みとりにくいし、雨の日は水溜りとなっているので、危険である。タイルの使用方法、場所に疑問をもつ。
子供用遊具	・安全の基準が曖昧なので、規格化して明確な安全基準を作って欲しい ・安全性だけではなく、定期点検についても規格化・義務化するべき